

高出三区だより

令和7年6月

高出三区定期総会 が開催されました。

活動目標 「すべての区民が健康で、安心して暮らせる 地域づくり」

塩原 康視 区長 あいさつ



この度、高出三区区長の大役を務めさせていただくことになりました。

本日はご多用の中、多くの区民の皆様にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、ご来賓の皆様にはご公務で、大変お忙しい中、ご臨席賜り感謝申し上げます。そして皆様には、平素より高出三区の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。前任の寺沢区長様は、区長として三区の発展に大変ご尽力をいただきました。その後をお引き受けすることとなりました。

私は行政に携わっておりましたけれども、区政は未経験のことであり、大変身の引き締まる思いがいたします。ただお引き受けいたしました以上は区の発展のために一生懸命努めてまいります。区民の皆様また各種団体の皆様方には引き続きご支援を賜りますよう、お願い

い申し上げます。

最近では自治会のあり方も変化しております。私自身も時代に合わせて変化すべきだと思っております。そのためには区長としてできる限りのことを実行したいと思っております。

最後になりますが区の活動目標であります、「すべての区民が健康で、安心して暮らせる地域づくり」に努めてまいりたいと考えておりますので皆様方のご指導ご協力のほどよろしくお願いいたします

【令和7年度の事業計画・予算の要点】

- ① 災害に備えたこれまでの取り組みを継続するとともに、新たに避難や助け合いの在り方、避難所の運営などについて、被災地域の経験に学び、より良い形を検討します。
- ② 事故や犯罪の少ない安心・安全な地域、年齢や性別・障がいの有無などにかかわらず誰もが参加でき、ともに支えあう地域づくりを進めます。
- ③ 行事や催しについては、区民の皆様が主体的に参加しやすいよう改善し、だれもが相互のつながりや地域の一員としての意識を実感できるものにします。
- ④ さまざまなメディアを活用しながら、情報発信の一層の充実をはかり、地域への関心の薄い方々や、区へ未加入の方々にも活動の意義や内容の周知に努めます。
- ⑤ 各種役員の負担軽減に引き続き努めるとともに、現役世代の地区への関わりを推進することで、次世代の担い手の確保につなげます。

【議案にかかわる質疑】

○ 第2号議案 令和6年度 決算報告の承認にかかわって

・高出三分館決算報告書で夏祭りの支出が予算50万円だったものが決算60万円になったのは、参加人数が多かったからか？ ⇒ コロナ禍以降業者を入れており、6年度は参加者が多かったため増額となった。

○ 第5号議案 令和6年度予算(案)の承認にかかわって

・高出公民館三分館予算(案)について支出の部夏祭りについて前年度が60万円かかっているのに48万円の予算は少なくないか？ ⇒ 夏祭りにかかわり自前でできる部分があるのではないかと考え48万円としている。コロナで活動ができず、お金が余り積み立てていた。そのお金でここまでやってこれたが、積立金が減ってきた。バスハイクも行っていくことを考える中でこのような予算とした。

・安全面を考えると業者を入れることも必要と思わる。後から他の予算からやりくりするならば今から増額しておくことはできないのか？ ⇒ 他の区の夏祭りのやり方を参考にしたりバスハイクのやり方を工夫したりしてほしい。

【事前に区民の皆様から提出された質問等について（総会当日、区長より説明）】

○ 役員の費用弁償について（高出三区運営規則細則にないものについて公開してほしい。公民館等の役員の金額が低いのではない） ⇒ 各団体・組織の決まりにより運営されている。細則に示された金額は、令和5年に見直されている。役員手当の妥当性は今後も検討していく。宮寺、安協、日赤は高出地区全体のものであり、三区だけでは判断できない。

○ 育成会の予算について（子供会の決算はあるが予算がないのは、PTA助成金はどのように使われているのか） ⇒ 子供会の会計は参考資料として総会資料に入れている。子供会については区の下部組織ではない。子供会と予算書の扱いについて子供会と検討していきたい。助成金の使途はクリスマス会、6年生を送る会に使われたと聞き取っている。

○ 三区会計について（繰越金が一般会計の50%を超えてきている。区費の値下げもできるのではない） ⇒ コロナ禍より、区の活動がままならない時期もあり、繰越金が増えた背景がある。区の活動をコロナ以前にもどすように動いている。今後の区の活動の在り方と合わせて区費額について検討していく。物価高騰もあるので状況を見極めながら検討していく。

○ 交通安全協会について（市内で安協を退会する地区が出ている。高出支部三分会としてどうかかわっていくか。日赤についても同様） ⇒ 三区だけで決められるものではない。近年の情勢としては検討が必要と考えている。

○ 組織のスリム化（片丘は8団体から3団体に再編成したという、高出は組織改編をどう考えているか） ⇒ 組織役員の負担軽減を常に考えてこれからも検討していきたい。

○ 質疑応答の公開について（質疑を文書として公開してほしい） ⇒ 三区だよりでお知らせをする予定である。

○ 区費の減額について（高齢者の一人暮らしの方の区費は前期のみにしたどうか） ⇒ 運営規則第6条で軽減措置について定められており、申請があれば区政委員会において協議し減免できる。

【その他として、区民の皆様から総会にて出された意見】

- ちびっこ広場とふるさとの丘の間の道路が狭く歩行者や自転車と自動車の接触事故が起きないか心配している。10年来要望している。
- ふるさとの丘の東屋の取り壊しの話があった。7組は避難所としている場所でもある。トイレもすでに取り壊されており雨宿りをする場所もなくなってしまう。新たな物の設置を要望事項としてあげてもらいたい。
- 安協をやめる地区が出てきているが、残った地区の負担が重くなることは避けたい。早めに検討してほしい。
- コロナ禍以降、組の交流活動が止まっている。年に1回も顔を合わせないということもある。組のコミュニケーションは災害の時にも一番の助けになるので交流活動を大事に考えてほしい。

【高出三区運営規則細則を一部改正しました】（総会第3号議案）

- 令和7年度より塩尻市の方針で青少年補導員とヘルスアップ委員の選出を求めないことになりました。それに伴い、高出三区では、青少年補導員とヘルスアップ委員の選出しないこととしたため、細則第3条にある青少年補導員とヘルスアップ委員にかかわる項目を削除します。

※出席いただいた区民の皆様、委任状を提出いただいた区民の皆様のご協力により、すべての議案は承認されました。

5月6月の動き



5月15日に第2公民館前、ワイン樽ひろばの花壇の整備を行いました。今年度からは、世代間交流事業としての展開がむずかしく、花壇の在り方について検討を進めてまいります。



6月6日に高出三区各種役員総合連絡会を開催しました。区政委員会や各団体の行事予定等の確認、各団体から検討を進めている事項の報告、区防災会議の組織及び連絡先の確認などを行いました。